

人文科学研究科の教育方針(2026 年度生用)

I 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

【博士前期課程／修士課程】

人文科学研究科は、博士前期課程及び修士課程においては以下の学位授与方針に基づき、修了に必要な単位を修得し、修士論文又は特定課題研究論文の審査及び最終試験に合格した場合に、修士(心理学、社会学、教育学、文学)の学位を授与します。

1. 知識・技能

心理学、社会学、教育学、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野における高度な専門知識と技能を修得し、複雑化し激しく変化する現代社会に専門的職業人として自立して貢献する能力を有する。

2. 思考力・判断力・表現力

自らの発想力によって課題を探究し、人文諸科学の広い関心と視野を持って問題に対処し、課題を解決するための基礎的研究能力を有する。

3. 協創力

豊かで鋭い国際感覚と広い視野を持ち時代と社会の諸問題について、多様な論考を尊重しつつ考察し、かつ国際社会及び地域社会に貢献する意欲と能力を有する。

【博士後期課程】

人文科学研究科は、心理学専攻及び英文学専攻における博士後期課程においては以下の学位授与方針に基づき、修了に必要な単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した場合に、博士(心理学、文学)の学位を授与します。

1. 知識・技能

心理学及び英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において極めて高度かつ専門的な知識及び技能を修め、知識基盤社会を支える研究者又は高度専門職業人として自立して貢献する能力を有する。

2. 思考力・判断力・表現力

自ら課題を探究し、論理的かつ科学的に分析・集約して公表することにより、心理学及び英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野の研究者として主体的かつ独創的な研究を遂行できる能力を有する。

3. 協創力

多様な論考・価値観を尊重しつつ人文諸科学に関する広い知識と柔軟な思考力を持って、社会的諸問題を把握・分析し、提言・啓示を提供し解決できる能力を有する。

II. 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

【博士前期課程／修士課程】

人文科学研究科は、本研究科の定める修士のディプロマ・ポリシーを実現するために、博士前期課程及び修士課程における授業科目及び教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

1. 心理学、社会学、教育学、英文学、米文学、英語学、応用言語学に関する専門的な知識を与え、

主体的な研究態度を養うために豊富かつ系統的な授業科目を設置する。

- 2.上記の各分野において自由かつ系統的な研究・教育を可能とする個人的指導体制を確立する。
- 3.上記の各分野の教育課程における各授業科目については、十分な学修時間の確保、厳格な成績評価、到達目標の明確化などを通じて質の保証を担保する。
- 4.心理学専攻、社会学専攻においては、専攻分野の研究課題を主体的に探究・解決し論文を作成する修士論文コースを設置する。教育学専攻、英文学専攻においては、修士論文コースに加え、専攻分野及び関連分野を広く学び課題研究をまとめる課題研究コースの2コースを設置する。
- 5.社会人が学びやすいように夜間開講に対応する。

【博士後期課程】

人文科学研究科は、本研究科の定める博士(心理学、文学)のディプロマ・ポリシーを実現するために、博士後期課程における教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

- 1.心理学、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において、研究課題に応じた博士論文の作成に向けて、高度な専門知識の深化・体系化することができるようきめ細かで一貫した指導体制を確立する。
- 2.上記の各分野の教育課程における各授業科目については、十分な学修時間の確保、厳格な成績評価、到達目標の明確化などを通じて質の保証を担保する。
- 3.社会人が学びやすいように夜間開講に対応する。

III. 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

【博士前期課程／修士課程】

人文科学研究科は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、博士前期課程及び修士課程において、心理学、社会学、教育学、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野を意欲的に研究する能力を持つ学生を広く国内外から受け入れるため、以下の通り学生の受け入れ方針を定めます。

1.入学者に求める能力

- (1)人文科学研究科で学ぶために必要な学力を有し、将来専門的職業人となるため専攻分野における専門的な知識・技能を修得している人
- (2)心理学、社会学、教育学、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野に深い関心を持ち、自ら問題意識を持って研究を行ない修士論文・特定課題研究論文を作成する意欲がある人
- (3)専攻及び関連分野の知識と見方を融合し、柔軟な思考力を持って国際社会及び地域社会の一員として活動できる人

2.入学後に涵養する能力

人文科学研究科は、博士前期課程及び修士課程の入学者に対して、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、各専門分野における高度な知識・技能を土台として研究を遂行する能力、専門的職業人として自立しうる能力、現代社会の諸問題を解決する能力、そして国際感覚を踏まえつつ地域社会に貢献する能力を涵養します。

【博士後期課程】

人文科学研究科は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、博士後期課程において心理学、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野の高度な知識を修め研究を行う意欲と能力のある学生を広く国内外から受け入れるため以下の通り学生の受け入れ方針を定め

ます。

1. 入学者に求める能力

- (1) 将来高度な知識と研究成果を生かした専門的な業務に従事するために、専攻分野の高度で専門的な知識・技能を修得している人
- (2) 心理学、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において、主体的な研究者として専門的な問題意識と研究課題を持ち研究を行う意欲がある人
- (3) 将来専攻及び関連分野の高度な知識と研究成果を生かし、多様な人々と協創して専門的な業務に従事することを希望する人

2. 入学後に涵養する能力

人文科学研究科は、博士後期課程の入学者に対して、心理学及び英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるとく、高度かつ専門的な知識を修め研究者として主体的かつ独創的な研究を行なう能力、専門的職業人に求められる高度の学識と思考力、そしてグローバルな視点を踏まえつつ社会的諸問題に対処し解決する能力を涵養します。

心理学専攻の教育方針(2026年度生用)

I 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

【博士前期課程】

人文科学研究科心理学専攻は、博士前期課程において以下の学位授与の方針に基づき、臨床心理学領域、心理科学領域のいずれかの領域の所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した場合に、修士(心理学)の学位を授与します。

1. 知識・技能

心理学における高度な専門知識と技能を修得し、人間のこころと行動に関する諸課題を実証科学的に分析し、客観的・論理的根拠を持って複雑化し激しく変化する現代社会に貢献する能力を有する。

2. 思考力・判断力・表現力

自らの発想力によって課題を探究し、心理学の高度な専門的学問知識に基づき、心理臨床の向上に資する実践的研究、あるいは人間行動の理解を深める実証的研究を通して課題を解決するための基礎的研究能力を有する。

3. 協創力

豊かで鋭い国際感覚と広い視野を持ち、時代と社会の諸問題について多様な論考を尊重しつつ、地域社会や心理臨床現場の多職種の人々と連携しながら要請に対応できる心理臨床職業人として、あるいは心理学の高度な専門性を要する研究職業人として、主体性を持って新たな価値の創造に貢献できる能力を有する。

【博士後期課程】

人文科学研究科心理学専攻は、博士後期課程において以下の学位授与の方針に基づき、修得に必要な単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した場合に、博士(心理学)の学位を授与します。

1. 知識・技能

心理学における極めて高度かつ専門的な知識及び技能を備え、知識基盤社会を支える研究者又は高度専門職業人として自立して貢献する能力を有する。

2. 思考力・判断力・表現力

自ら課題を探究し、論理的かつ科学的に分析・集約して公表することにより、心理学の研究者として主体的かつ独創的な研究を遂行できる能力を有する。

3. 協創力

多様な論考・価値観を尊重しつつ心理学に関する広い知識と視点から、心理学的諸問題を把握・分析し、提言・啓示を提供し解決できる能力を有する。

II. 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

【博士前期課程】

人文科学研究科心理学専攻は、本専攻の定める修士のディプロマ・ポリシーを実現するために、博士前期課程における授業科目及び教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

1. 基礎心理学と臨床心理学の融合を背景に、基礎心理学と臨床心理学の各専門領域に豊富かつ系統的な授業科目を設置し、心理学全般にわたる専門的知識と技能を習得するとともに実証的かつ実践的な研究を推進できる教育課程を編成する。
2. 人間のこころと行動に関する諸課題を実証科学的に分析し、客観的・論理的根拠を持って課題を解決するための技量を身につけることを目標として、心理学の各専門領域に関する講義と演習ならびに研究指導などの授業科目を配置する。
3. 臨床心理学領域においては、心理臨床の現場における実習及び臨床心理相談センターでの研修を通して、心理臨床における実践的な能力を育成する。心理科学領域においては、専門学会での研究発表や学術雑誌への投稿に向けて、実験実習や実験研究においてきめ細やかな指導を行う。
4. 研究テーマに応じた必要性により、他専攻及び他研究科で開講されている講義科目の履修を可能にする。

【博士後期課程】

人文科学研究科心理学専攻は、本専攻の定める博士のディプロマ・ポリシーを実現するために、博士後期課程における教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

1. 心理学の各専門領域に特殊研究指導を開設して研究課題に応じたきめ細やかで一貫した研究指導を行う。
2. 指導教員以外が担当する心理学特殊研究特講を開設して他分野他領域への関心の幅を広げ学際性を養う。
3. 複数の教員による論文指導委員会を設置して独創的で優れた博士論文を完成できるよう支援する。

Ⅲ. 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

【博士前期課程】

人文科学研究科心理学専攻は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、広く国内外から学生を受け入れるため、以下の通り学生の受け入れ方針を定めます。

1. 入学者に求める能力

- (1) 人間のこころと行動に深い関心を持ち、主体的に研究活動や実践活動ができる人
- (2) 心理学に関する基礎的知識と技能を持ち、さらに心理学に関する高度な専門的知識と実践的技量を身につけたい人
- (3) 高度な専門的職業人として社会に貢献する強い意欲を持つ人

2. 入学後に涵養する能力

心理学専攻博士前期課程の入学者に対して、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、現代社会における人間のこころと行動に関する諸課題を実証科学的に分析し、客観的・論理的根拠を持って課題の解決をはかることができる能力を涵養し、心理学の高度な専門性を有する人材を養成します。

【博士後期課程】

人文科学研究科心理学専攻は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、広く国内外から学生を受け入れるため以下の通り学生の受け入れ方針を定めます。

1. 入学者に求める能力

- (1) 心理学領域及び関連領域において、研究者として自立して研究活動を行おうとする人
- (2) 心理学領域及び関連領域において、高度に専門的な業務に従事して実践的研究活動を行おうとする人
- (3) 将来専攻及び関連分野の高度な知識と研究成果を生かし、多様な人々と協創して専門的な業務に従事することを希望する人

2. 入学後に涵養する能力

心理学専攻博士後期課程の入学者に対して、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、心理学の専門領域及び関連領域に関する高度な専門的知識と技能に基づき心理学的視点で現代社会の諸課題を解決できる能力を涵養し、独創的な研究を自立して遂行することができる研究者や高度な専門性を要する心理専門職業人を養成します。

社会学専攻の教育方針(2026年度生用)

I 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

人文科学研究科社会学専攻は、修士課程において以下の学位授与方針に基づき、修了に必要な単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した場合に、修士(社会学)の学位を授与します。

1.知識・技能

現代社会に生起している諸問題・諸現象を理解するための社会学と社会調査の高度な専門的知識とスキルを修得し、自らの専門的職業人として自立できる能力を有する。

2.思考力・判断力・表現力

社会学の高度な専門的知識とスキルを活かして、自らの探究心を持って研究を遂行する能力を有する。

3.協創力

現代社会に対応する社会学的応用力を身につけ、社会の様々な分野で活躍する能力を有する。

II. 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

人文科学研究科社会学専攻は、ディプロマ・ポリシーを実現するため、授業科目及び教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

- 1.社会学に関する専門分野の授業科目を設置するとともに、自由かつ系統的な研究を可能とするきめ細かな研究指導体制を構築する。
- 2.主たる専門分野には各々「研究指導」「講義」「演習」「社会調査演習」科目を配置し、研究テーマの設定から遂行まで一貫した指導体制を構築する。
- 3.社会学という学問分野の特殊性に鑑みて、パターン化された履修モデルを設定せず、院生個人の研究テーマにあわせて、履修すべき科目を設定する。
- 4.研究テーマに応じた必要性により、他専攻及び他研究科で開講されている講義科目の履修を可能にし、独創的な研究を遂行する教育指導体制を整える。

III. 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

人文科学研究科社会学専攻は、大学卒業程度の学力を有し、社会学を学ぶ意欲と資質を持つ人を広く受け入れるため、学生の受け入れ方針を以下の通り定めます。

1. 入学者に求める能力

- (1)本研究科で学ぶために必要な学力を有し、社会学に深い関心と自主的に学び研究する意欲のある人
- (2)自らの研究テーマや問題意識を鮮明に持つと同時に、「自己の社会的目標」を明確に描くことができる人

- (3)社会学に関する専門的知識と課題解決能力を身につけ、専門職業人として社会で活躍することを希望する人
- (4)複数分野の知識を融合し、複眼的な視点から思考できる能力を身につけ、地域社会の一員として活動することを希望する人

2. 入学後に涵養する能力

社会学専攻修士課程の入学者に対して、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるごとく、現代社会に生起している諸問題・諸現象を理解するための専門的な知識・スキルを修得しそれを実践する能力を涵養し、現代社会に対応する社会学的応用力を身につけ、社会の様々な分野で活躍する能力を有する人材を養成します。

教育学専攻の教育方針(2026年度生用)

人文科学研究科教育学専攻は「人間の発達と形成に関する高度な研究と教育の機会を提供することを通して教育に関する専門的知識と実践的能力を持つ人材を養成すること」を目的として掲げている。この目的を達成するために以下の三つの教育方針を定めます。

I 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

人文科学研究科教育学専攻は、修士課程において以下の学位授与方針に基づき、所定の単位を修得し、修士論文又は課題研究報告書の審査及び最終試験に合格した者に、修士(教育学)の学位を授与します。

1.知識・技能

「人間の発達と形成」に関する高度な専門知識と技能を、家庭・学校・社会等の生態との関連で修得し、複雑化し変化する現代社会に専門的職業人として自立して貢献する能力を有する。

2.思考力・判断力・表現力

「人間の発達と形成」に関連する複数分野の知識を基盤とする臨床的視点を持って問題に対処し、課題を解決するための基礎的研究能力を有する。

3.協創力

「人間の発達と形成」の視点の基に多様な論考・価値観を尊重し、他者と共同で国際社会及び地域社会の価値の創造に貢献できる能力を有する。

II. 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

人文科学研究科教育学専攻は上に定めるディプロマ・ポリシーに基づき、授業科目及び教育課程の編成方針を以下のように定めます。

1. 人間の発達と形成に関して、誕生から成熟と死に至る時間的広がりや家庭・学校・社会等の生態の広がりのなかで、現実的諸問題とその解決を志向する臨床的視点に立った多様で系統的な授業科目を設置する。
2. 人間の発達と形成をめぐる事象に関する調査・研究を自由かつ系統的に遂行し、その成果を体系的にまとめ上げていく能力を養成する研究・教育を可能とする個人的指導体制を確立する。
3. 各授業科目については、到達目標の明確化、十分な学修時間の確保、厳格な成績評価等を通じて質の保証を担保する。
4. それぞれの関心や進路に応じた学習を可能とするため、修士論文コースに加え、課題研究コースを設置する。
5. 社会人が学びやすいように夜間開講に対応する。

III. 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

人文科学研究科教育学専攻は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、学生の受け入れ方針を以下のように定め、国内外から学生を受け入れます。

1.入学者に求める能力

- (1)本専攻で学ぶために必要な学力を有し、人間の発達と形成に関する専門的知識・技能を習

得している人

- (2)人間の発達と形成に深い関心を持ち、自ら問題意識を持って調査・研究を行い、その成果を体系的にまとめ、修士論文・特定課題研究論文を作成する意欲がある人
- (3)人間の発達と形成及び関連分野の知識と見方を融合し、柔軟な思考力を持って国際社会及び地域社会の一員として活動できる人

2.入学後に涵養する能力

教育学専攻修士課程の入学者に対して、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるとおり、「人間の発達と形成」をめぐる現実的諸問題に関する高度な知識と能力を涵養し、それら諸問題の関連分野において専門的研究や専門的職業に携わる人材を養成します。

英文学専攻の教育方針(2026年度生用)

I 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

【博士前期課程】

人文科学研究科英文学専攻は、博士前期課程においては以下の学位授与の方針に基づき、所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得し、修士論文又は特定課題研究論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、修士(文学)の学位を授与します。

1. 知識・技能

英文学・米文学・英語学・応用言語学における高度な専門知識と技能を修得し、博士後期課程に進学できる能力又は、複雑化し激しく変化する現代社会に専門的職業人として自立して貢献する能力を有する。

2. 思考力・判断力・表現力

国際語としての英語による高いコミュニケーション能力を修め、英文学・米文学・英語学・応用言語学に関する幅広い教養と、論理的、複眼的な思考能力を修得し、課題を解決するための基礎的能力を有する。

3. 協創力

英文学・米文学・英語学・応用言語学の分野の知見を基盤に、国際社会及び地域社会の新たな価値の創造に貢献できる能力を有する。

【博士後期課程】

人文科学研究科英文学専攻における博士後期課程においては以下の学位授与の方針に基づき、修了に必要な単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した場合に、博士(文学)の学位を授与します。

1. 知識・技能

英文学・米文学・英語学・応用言語学の分野で高度な専門知識の技能を修得し、知的基盤社会を支える研究者、又は高度専門的職業人として自立して貢献する能力を有する。

2. 思考力・判断力・表現力

自ら課題を探究し、論理的かつ科学的に分析・集約して公表することにより、英文学・米文学・英語学・応用言語学の研究者として主体的かつ独創的な研究を遂行できる能力を有する。

3. 協創力

英文学・米文学・英語学・応用言語学の分野の知見を基盤に、国際社会及び地域社会の諸問題を把握・分析し、主体的に問題を解決できる能力を有する。

II. 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

【博士前期課程】

人文科学研究科英文学専攻は、本研究科の定める修士のディプロマ・ポリシーを実現するために、博士前期課程における授業科目及び教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

1. 英文学、米文学、英語学、応用言語学に関する専門的な知識を与え、主体的な研究態度を養うために豊富かつ系統的な授業科目を設置する。
2. 上記の各分野において自由かつ系統的な研究・教育を可能とする個人的指導体制を確立する。

- 3.上記の各分野の教育課程における各授業科目については、十分な学修時間の確保、厳格な成績評価、到達目標の明確化などを通じて質の保証を担保する。
- 4.英文学専攻においては、研究課題を主体的に探究・解決し論文を作成する修士論文コース及び専攻分野及び関連分野を広く学び課題研究をまとめる課題研究コースの2コースを設置する。
- 5.社会人が学びやすいように夜間開講に対応する。

【博士後期課程】

人文科学研究科英文学専攻は、本研究科の定める博士(文学)のディプロマ・ポリシーを実現するために、博士後期課程における教育課程の編成方針を以下の通り定めます。

1. 英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において、研究課題に応じた博士論文の作成に向けて、高度な専門知識の深化・体系化することができるよう、きめ細かで一貫したな指導体制を確立する。
- 2.上記の各分野の教育課程におけるに各授業科目については、十分な学修時間の確保、厳格な成績評価、到達目標の明確化などを通じて質の保証を担保する。
- 3.社会人が学びやすいように夜間開講に対応する。

Ⅲ. 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

【博士前期課程】

人文科学研究科英文学専攻は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、博士前期課程において、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野を意欲的に研究する能力を持つ学生を広く国内外から受け入れるため、以下の通り学生の受け入れ方針を定めます。

1. 入学者に求める能力

- (1)人文科学研究科英文学専攻で学ぶために必要な学力を有し、将来専門的職業人となるため専攻分野における専門的な知識・技能を修得している人
- (2)英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野に深い関心を持ち、自ら問題意識を持って研究を行ない修士論文・特定課題研究論文を作成する意欲がある人
- (3)英文学、米文学、英語学、応用言語学及び関連分野の知識と見方を融合し、柔軟な思考力を持って国際社会及び地域社会の一員として活動できる人

2. 入学後に涵養する能力

人文科学研究科英文学専攻は、博士前期課程の入学者に対して、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるとく、各専門分野における高度な知識・と技能を土台として研究を遂行する能力、専門的職業人として自立しうる能力、現代社会の諸問題を解決する能力、そして国際感覚を踏まえつつ地域社会に貢献する能力を涵養します。

【博士後期課程】

人文科学研究科英文学専攻は、広島修道大学大学院の定めるアドミッション・ポリシーに基づき、博士後期課程において英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野の高度な知識を修め研究を行う意欲と能力のある学生を広く国内外から受け入れるため以下の通り学生の受け入れ方針を定めます。

1. 入学者に求める能力

- (1)将来高度な知識と研究成果を生かした専門的な業務に従事するために、専攻分野の高度で専門的な知識・技能を修得している人

- (2) 英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において、主体的な研究者として専門的な問題意識と研究課題を持ち研究を行う意欲がある人
- (3) グローバルな視点を持ち、将来、英文学、米文学、英語学、応用言語学及び関連分野の高度な知識と研究成果を生かし、多様な人々と協創して専門的な業務に従事することを希望する人

2. 入学後に涵養する能力

人文科学研究科英文学専攻は、博士後期課程の入学に対して、英文学、米文学、英語学、応用言語学の分野において、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるとく、高度かつ専門的な知識を修め研究者として主体的かつ独創的な研究を行なう能力、専門的職業人に求められる高度の学識と思考力、そしてグローバルな視点を踏まえつつ社会的諸問題に対処し解決する能力を涵養します。